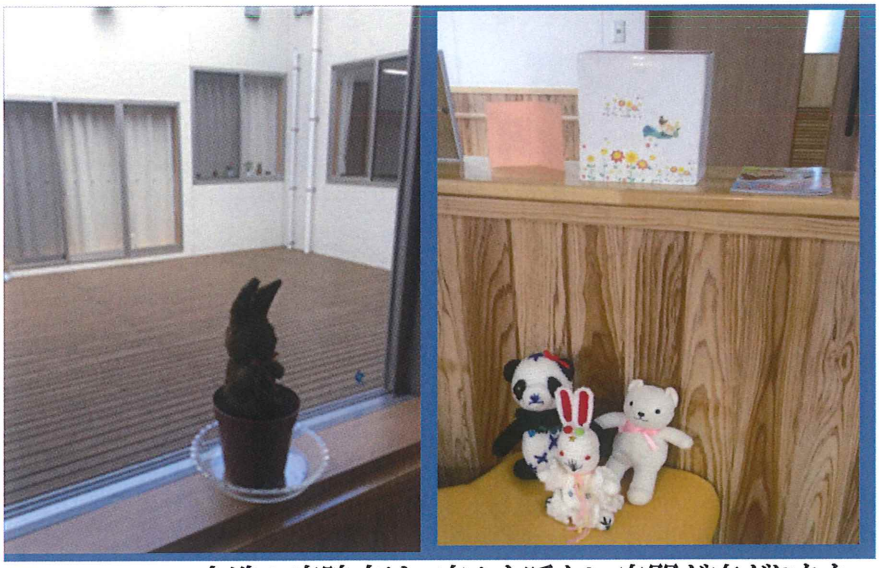
種子島産婦人科医院　ボランティアグループ

あい♥愛通信 No. 3

2017年7月発行



木造の病院内は、広々と暖かい空間が広がります。

前田先生に聞きました！

種子島産婦人科医院では出産時に輸血を必要とする妊婦さんに対し、事前に予測できる場合は、本人の血液を採血し輸血用に準備することで、母体の負担を少なくすることができます。血液を安全保管するなどの病院スタッフの技術向上により、これまでは鹿児島市内へ行く事例が種子島でも出産できるようになりました。輸血を必要とするお産は年間５～１０件と、やや発生件数が多いのは、母体と赤ちゃんの血液が異なる場合に、出産時に母体の血液型とは異なる赤ちゃんの血液が母体に混入されるリスクなど、お産の場合にしか起こらない場合があるからです。

お産は病気ではないと思われますが、お産に特有のリスクもあることも知っておきたいですね。

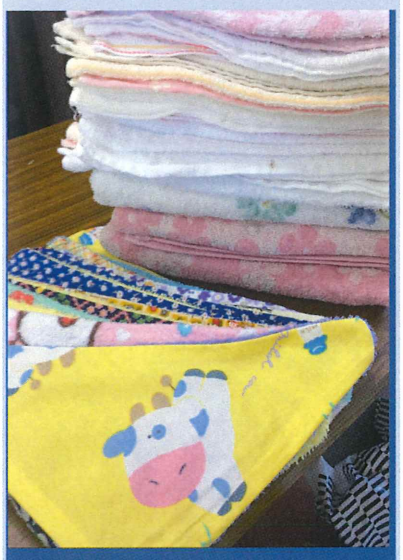
（前田宗久院長）

手作ニワトリ

★6月の折り紙・あじさい

おめでとうございます	
2017年 お産の状況（里帰り出産）	
1月	18人（5人）
2月	13人（3人）
3月	17人（7人）
4月	13人（3人）
5月	14人（3人）
お産件数（年間）	
2009年度	249人
2010年度	258人
2011年度	220人
2012年度	236人
2013年度	229人
2014年度	221人
2015年度	206人
2016年度	185人

ボランティアグループあい・愛は、種子島産婦人科医院を応援します。種子島で安心して出産できる環境や、女性の健康を守る種子島産婦人科医院が今後も継続していけるよう、お手伝いします。



寄附で集めたタオル地と布で、新生児用の三角エプロンを作りました。

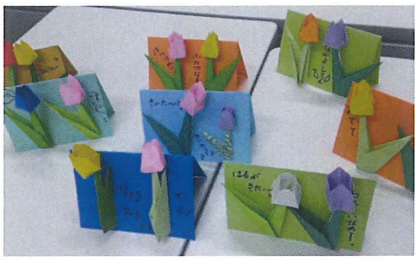
ボランティアグループ
あい♥愛 活動紹介

月ごとに、季節感を出した折り紙やイラストカードを作り、温かくリラックスできる病室の雰囲気づくりと、「おもてなし」の気持ちを表現しています。

★5月　こいのぼりとアヤメ

★4月　菜の花と蝶

★3月　チューリップ



種子島の新しい病院でお産。親元で安心できる里帰り出産をしませんか。病院へ気軽にお問合せください。

★鹿児島市からの里帰り出産。6月2日生まれ、假屋晴陽(はるひ)君。

★中種子町野間の西田篤弥・佳澄さんに6月7日「奏一朗・そういちろう」君が誕生。

夏ですよ。

★　南種子町の岡田直人・容子さんに6月10日誕生した「樹・いつき」君。

★　西之表市住吉の長野竜二・紗樹さんに「みこ」ちゃんが6月12日誕生。

ボランティアグループあい♥愛　会員を募集しています。

私たちは、池田産婦人科医院が閉院する事に大変驚きました。そして種子島でお産できる環境を守るためには、お産する人だけではなく、島民みんなが一緒に協力することが大切だと痛切に感じました。また、婦人科があることは、島の女性の健康を守ることです。ボランティアグループあい♡愛は種子島産婦人科医院を応援する女性有志のグループです。みなさんの参加やご支援をお願いします。

◆◆◆　病院では、未使用のタオルを集めています。また、手作り人形や折り紙などの作品もご寄附ください。みんなで、病院を応援しましょう。最寄りのボランティアグループ役員にご連絡ください。

賛助会員募集中。年会費1,000円で、ニュースレターをお届けします。

問い合わせ先：

西之表市・長野広美　（携帯　090-3109-4488）
中種子町・戸田和代　（携帯　090-5737-1176）
南種子町・名越多喜子（携帯　090-5289-8786）

種子島産婦人科医院
〒891-3101 西之表市西之表16314-7
TEL　0997-22-0260